



撮影=山中慎太郎

ラッセン展

2012年8月1日(水) - 8月25日(土)

レセプションパーティー: 8月1日(水) 19:00-21:00

※8月12日(日)-8月17日(金)までは盆休みとさせていただきます。

また、8月18日は、夏祭りを開催致します。*8月25日(土)に変更致します。

クリスチャン・ラッセン、山口俊郎、小林武雄、出相洸一、結城唯善、悠久齋、梅沢和木、百頭たけし

時下ますますご健勝のほどお喜び申し上げます。この度CASHIにて、8月1日(水)から8月25日(土)までの期間、ラッセン展を企画いたします。

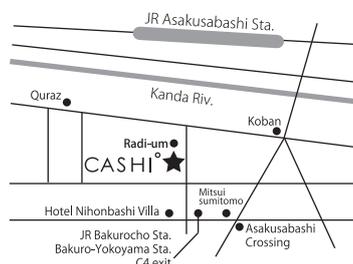
1990年代以降、日本社会全体で高い知名度を誇るクリスチャン・リース・ラッセンは、特に一般の人々からは「美術」の代名詞であるかのように捉えられることがあります。その一方で、一言に「美術」と言ってみただけで、その美術を取り巻く状況によって、活動の形態も作品のあり方も分断されているのが日本の現状です。例えば、ラッセンがしばしば位置付けられるインテリア・アートであったり、日展や院展、二科展に代表される公募団体展であったり、本展会場となるCASHIが活動の舞台とする現代美術などがあります。「美術」という日本語は、これらすべてを包括していながら、それぞれがほとんど交わることのない大きな歪みも内包してきました。しかし、ひとたび「作品」という単位で比較・鑑賞を行っていけば、その歪みを一旦見えなくさせ、大きな視点から「美術」について考え直すきっかけを作ることができるかもしれません。

出品作家はラッセンに加えて7名を選出いたしました。現代美術を活動の舞台とする作家から、公募団体展で華々しい経歴を持つ作家、特定の業態に位置づけることが難しい作家まで、そのバリエーションは様々です。作品の様態も、絵画、ドローイング、写真、立体、複製画など様々あり、それらを含める最小の単位は「作品」というほかないでしょう。ラッセンを筆頭に、これまでお互いに有効な分析の機会が与えられることのなかった作品同士を並べ、作品という単位にこだわって美術を見直してみることが、この曖昧な現状に対して最も誠実に向き合う方法であろうと考えて、本展を企画いたしました。つきましては、実際に会場で作品を鑑賞することで、この思いを共有して頂けましたら幸いです。

企画: 大下裕司、原田裕規 / 主催: CASHI

CASHI[®]

開廊日時: 火 - 土 11:00-19:00 (日・月・祝日休廊)
 TEL: 03-5825-4703 FAX: 03-5825-4704
 MAIL: info@cashi.jp WEB: http://cashi.jp
 〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町 2-5-18-1F
 JR・都営浅草線 浅草橋駅 A2 出口より徒歩 5 分
 JR 馬喰町駅・都営新宿線 馬喰横山駅
 C4 出口より徒歩 1 分



企画者略歴

原田裕規 Yuki HARADA

1989年 山口県生まれ。東京都在住

2012年 武蔵野美術大学造形学部芸術文化学科在学

現在、制作活動の傍ら、アール・ローランのダイアグラム解析論について研究・執筆中。

<主な展覧会>

2006 「The 10th Flag-Art Exhibition」 出展 - 神田町通り, 岐阜

2007 「原田裕規展」 - Art Space Hap, 広島

「原田裕規展」 - 新地ギャラリー, 広島

2011 「児島ゼミ有志展」 - 武蔵野美術大学, 東京

他

大下裕司 Yuji OHSHITA

1987年 横浜生まれ。横浜在住

2011年 慶應義塾大学文学部美学美術史学専攻卒業

2012年 同大学大学院、政策・メディア研究科在学

現代美術・アートマネジメントの他、北海道美術、アイヌ文化について研究中。

<主な企画>

2008 「フリーインプロヴィゼーションイベント：卒啄」

- 公園通りクラシックス, 東京

「勝井祐二・迫田悠による「空の回遊槽」」

- 慶應義塾大学日吉キャンパス (HAPP), 神奈川

他



クリスチャン・ラッセン "varua moana" 2004, H281 × W433mm

クリスチャン・リース・ラッセン

1956年 カリフォルニア生まれ、ハワイ在住

1989 ホノルルマラソン公式ポスターを制作

1989 アールピバン株式会社と契約、以後日本での発表を開始

1992 「サンクチュアリ」が国連記念切手として採用

1996 映画「フリッパー」公式ポスターを制作

1998 NGO 組織「F.U.N」の親善大使に任命

1997～2002 日本全国の約150都市で原画展を開催。約15万人を動員する



山口俊郎 "GEP (Google Earth Painting) -cholatau-"
2011, H158 × W228mm カンバスに油彩

山口俊郎 やまぐち・としお

1977年 兵庫県生まれ、神奈川県在住

2003年 広島市立大学大学院修了

2003 第3回 RUBICON 展・広島市立大学芸術学部絵画専攻（油絵）卒業生
選抜展、東邦アート（東京会場9回まで）フジ中画廊（東京会場10回）
広島・八丁堀天満屋7階美術画廊（広島会場）

2005 今日の絵画・倉敷芸術科学大学油画コース教員展、加計美術館

2010 光の肖像展 in London、ロンドンブルネイギャラリー、ロンドン

2011 山口俊郎個展（NSA/ 広島）



小林武雄 "杉叢" 2012, H333 × W242mm カンバスに油彩

小林武雄 こばやし・たけお

1926年 千葉県生まれ、千葉県在住

日展会友、創元会会員・審査員、千葉県美術会理事

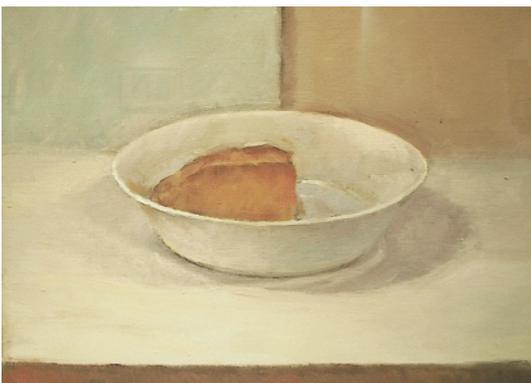
1963 日展初入選、以降入選37回

1964 光風会展受賞

1990 創元展会員

2001 創元展60周年記念賞、日展特選

2002～2012 日展出品



出相光一 "聖餐" 2012, H242 × W333mm カンバスに油彩

出相光一 であい・こういち

1985年 山口県生まれ、岡山県在住

2010年 倉敷芸術科学大学大学院芸術研究科修了

白日会会友

2005 第6回 佐藤太清賞公募美術展入選

2011 第87回 白日会展 白日賞

2011 第22回 明日の白日会展

2012 第88回 白日会展 美岳画廊賞 会友推挙

2012 第23回 明日の白日会展



結城唯善 “DR2011054” 2011, H110 × W140mm 紙に色鉛筆、ボールペン

結城唯善 ゆうき・ただよし

1990年 東京都生まれ、東京都在住

武蔵野美術大学大学院造形研究科修士課程美術専攻油絵コース在学

2010 第96回光風会展、国立新美術館、(2010年度最年少入選・光風会奨励賞受賞)

2010 第42回日展、国立新美術館、(2010年度最年少入選)

2011 第43回日展、国立新美術館、入選

2012 倉敷芸術科学大学芸術学部卒業・修了制作展 2012、倉敷市立美術館

2012 結城唯善展 わたしの中のアナタ、アートガーデン (岡山)



悠久齋 “マヨイガ” 2008, サイズ可変 ミクストメディア

悠久齋 ゆうきゅうさい

1973年 大阪府生まれ、大阪府在住

1996年 大阪芸術大学芸術学部文芸学科中退

2004 個展「色・形・音の世界」Gallery HAY-ON-WEY

2004 個展「見るなの森 見るなの淵」ギャラリー Spoon

2006 第20回 THE CHOICE 年度賞入賞

2006 AMP west 選抜

2008 個展「わたしのために〜 for me」CASHI

2010 個展「花も嵐もかきわけて」CASHI



梅沢和木 “マジェスティック・ハザード” No.1
2012, 728 × W515mm パネルに画像を出力した光沢紙, アクリル

梅沢和木 うめざわ・かずき

1985年 埼玉県生まれ、埼玉県在住

2008年 武蔵野美術大学映像学科卒業

2010 個展「エターナルフォース画像コア」art project frantic

2010 「カオス＊ラウンジ 2010 in 高橋コレクション」出展、高橋コレクション

「破滅＊ラウンジ」出展、NANZUKA UNDER-GROUND

個展「美しい画像コア」CASHI

2011 「【新しい】カオス＊ラウンジ【自然】」出展、高橋コレクション日比谷

2012 個展「大地と水と無主物コア」CASHI



百頭たけし “無題” 2012, 329 × 483mm インクジェットプリント

百頭たけし ひゃくとう・たけし

1980年 群馬県生まれ、栃木県在住

2007年元旦より活動を開始

2009 「ノン遠頭」高円寺ギャラリー

2010 個展「帰ってきたなぜ、怪獣図鑑か」展、サイトー美術館

2010 「カオス＊ラウンジ vol.2」出展、mograg garage

2011 「カオス＊ラウンジ vol.3」出展、mograg garage

2011 「オルゴンコルテス展」出展、デザインフェスタギャラリー